

2011. 11. 01

〇〇 〇〇 (組織名称)
〇〇 〇〇 様

公益社団法人土木学会
副会長 兼 企画委員会委員長 林 良嗣

土木学会活動へのご意見の拝聴について (依頼)

拝啓 貴職におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

私ども、土木学会は2014年に創立100周年を迎える公益社団法人であります。その会員数は、現在約3.6万人であり、その2/3以上は企業人となっています。

土木学会は、土木分野の専門家集団として、国土の計画・管理及び社会資本整備等に関する調査研究、これらに携わる土木技術者の資格認定・継続教育、関係する専門図書の出版、海外への情報発信等の活動を行っております。さらに、東日本大震災をはじめ多くの国内・海外の災害へ調査団を派遣し、積極的に自然災害対策への提案活動も行ってきました。

国土の計画・管理及び社会資本整備等は、喫緊の課題である環境問題、食糧・水・エネルギー問題、少子・高齢化問題等の市民の皆様の日々の生活とも深く関わっており、2014年の土木学会創立100周年に向けて「市民工学への回帰」を統一テーマとして100周年事業も進めております。

このような認識のもと土木学会では、「社会と世界に活かそう土木学会の技術力・人間力」をキャッチフレーズとして、研究成果等を社会へ還元し社会問題の解決へ貢献するため、民間企業と同様に5か年間の行動計画に基づくPDCAのマネジメントシステムを運用してきており、この度中間年の自己評価結果をとりまとめました。

今般、このような学会活動をより一層活性化し、公益社団法人として社会へ貢献することを目指して、学会外の有識者の方から土木学会、土木技術者に対する率直なご意見などをいただくことといたしました。

また、現在、企画委員会では、土木学会創立100周年である2014年を初年度とする次期5カ年計画の策定に向けた検討にも着手しております。いただきましたご意見等については、この計画にも反映させる予定です。

このような趣旨のもと、貴職から土木学会に対する率直な意見、期待等を是非お聞きしたいと思っております。つきましては、ご多忙な折り誠に恐縮ではありますが、下記によりご協力を賜りたくお願い申し上げます。

敬具

記

1. ご意見等をいただきたい事項 (ヒアリング事項)

土木学会のこれまでの活動内容・成果等については、別添資料をご覧ください。これらを参考に次の3点についてご意見等をいただければと存じます。

(1) 次のような課題に対して土木技術者が果たすべき役割・期待 (下記以外のテーマでも結構です)

- ・ 東日本震災復興
- ・ 社会基盤整備
- ・ 環境問題
- ・ 食糧・水・エネルギー問題
- ・ 少子高齢化問題
- ・ アジアをはじめとする国際社会への貢献

(2) (1) における土木技術者の役割を達成するため土木学会が果たすべき役割・期待

(3) 土木学会運営PDCAマネジメントシステムに対する意見等

2. ご意見拝聴方法・会場

土木学会会議室にて前記(1)～(3)に関するご意見等を30～40分程度お聞きした後、土木学会企画委員会等メンバー(10人前後)と意見交換をお願いいたします。意見交換を含めまして2時間以内を予定しております。

なお、貴組織など土木学会以外の会場をご希望の場合には、企画委員会担当幹事(2～3名)が訪問させていただき、前記(1)～(3)に関するご意見等をお聞きしたいと思っております。

下記、事務局より日程調整のご連絡をさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

3. 連絡先

公益社団法人 土木学会 事務局 担当：佐々木 淳 E-mail ssk@jsce.or.jp
〒160-0004 東京都新宿区四谷一丁目(外濠公園内)
TEL 03-3355-3442 FAX 03-5379-0125

以上

<別添資料>

- ・ 土木学会の概要と活動成果例
- ・ 「JSCE2010」中間評価結果概要について(案)
- ・ 「JSCE2010」中間評価(案)